

CASBEE®新潟 | 評価結果 |




- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	(仮称)西新潟健診プラザ新築工事	
建設地	新潟県新潟市西区小新南2丁目1-10	
用途地域	準工業地域、指定無し	
建物用途	病院	
竣工年	2022年4月 予定	
敷地面積	2,046.76 m ²	
建築面積	1,156.38 m ²	
延床面積	3,259.97 m ²	
階数	地上4F 地下0F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2021年1月12日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46.6}{47.1} = 0.9$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.2		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.5
			設備の更新性	Q2.3.3 3.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.2		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	LR2.1.1 4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 4.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全と創出	Q3.1 2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- ・外部に露出する金属部材に溶融亜鉛メッキ等の防錆対策を取っている。
- ・耐用年数の長い配管材の採用
- ・自動水栓に加えて節水型便器を採用している。
- ・軽量鉄骨の乾式壁工法により、躯体と仕上材を容易に分別可能である。
- ・再利用できるユニット部材としてOAフロアを採用している。

CASBEE 新潟

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西新潟健診プラザ新築工事	階数	地上4F 地下0F
建設地	新潟県新潟市西区小新南2丁目1-10	構造	S造
用途地域	準工業地域、指定無し	平均居住人員	420 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2021年1月12日
敷地面積	2,047 m ²	作成者	高田尚
建築面積	1,156 m ²	確認日	2021年1月12日
延床面積	3,260 m ²	確認者	高田尚

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 新潟県新潟市に計画された診療所施設である。 節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他
Q1 室内環境 遮音性能の高い建具を採用。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い内装材等を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内を積極的に緑化を行い、緑の量の確保に配慮している。
LR1 エネルギー ・高効率な設備機器を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を積極的に採用等、水資源の保護に配慮している。 ・再利用可能な部材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・燃焼設備を採用しない事により大気汚染に配慮した計画としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される